

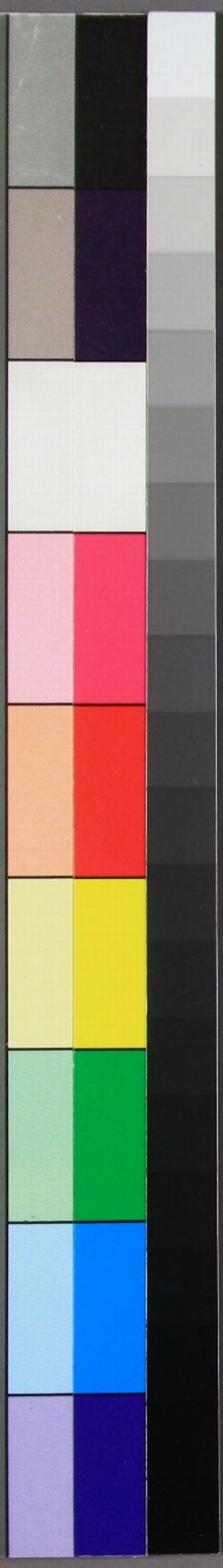


名由部
緑
口
口

非題曲の由

十三編上

錦日堂様



落花集正俊の句
佳者の湯と春や蘇花



其由縁鄙俚 十三編 上

仙果作國貞画

奇妙圖景云

蛤雀

その海の中へ入る
あつたるものごとくある

笑壽屋壽梓



一 命

故翁の紫文を譯述しや寓言七百六十張作意も画面も上品と愛形と
 專と暴々とした忌々とした様ども厭ひ憚られけむる世界の内用
 應仁記音川山名の修羅場さへ噂のやうな事終りぬ血と見る所の算あるなる
 螺綫この胡蝶の巻は漆園尼の外あり然るに在下其末を綴るふりり
 女三宮柏木の督君の奸通の因縁と理断り爲ふか三の方を毒殺せしりり似合
 一々々と知のり案と盡て殺風景と巻毎に捲入して拙手の證をわたりぬ
 さあわれど此編の上程本意を失ふるるを先作者の意匠も成りし二の瀬
 の有髪僧大内義弘是等ハ顔勅敵みてとて三津世姫を皇胤と男子ある
 との奇ふ過ぐ原書の情實も甚く乖ふれば平穩なる體裁も挽回さへしむる小
 罷とぞ得ぬ攻劇劑とれも由縁の紫圓の浮藥毒を以毒をせむる推道漬物の
 塩出ふ塩水を用ふ格とる二編ハ他巧目とてかかるとて紙希とせしめる

庫七

乙卯孟陽新刊

仙果作國貞画

部第十三



明石の上住吉

樂の次
雜藝法樂
俳優辰之助
鎗踊の
ところ

豊前

うしろのちゅう
用あれとかる
さしお水水々
石他とわたのまこと
繪外のこまきとあれど
とら戯作と
とありたまた



岩城山
 山頂に坐す女
 花の香を
 手に持てて
 風を待たせり

●●●●●
 花の香を手に持てて
 風を待たせり
 春王様
 王様の御
 御座りませう



岩城山
 山頂に坐す女
 花の香を
 手に持てて
 風を待たせり

岩城山
 山頂に坐す女
 花の香を
 手に持てて
 風を待たせり

錦昇堂藏板新鐫目錄

稻妻形怪鼠標子

西馬國画



ゆもきてられぬまは
るひはト安念流り
ハ木石をうきま
むいのかうんく

仙果作
國貞画

比翼
一雄 齋
裁縫
仙果 笠亭 作

誠忠大星譚
柳下亭種員作
一陽齋豐國画

地本綿繪問屋よりあつてあはれをなす七



Handwritten text in cursive calligraphy (sōsho) on a greenish background. The text is arranged in vertical columns, reading from right to left. The characters are highly stylized and fluid.



都 梯 十三

十一

持江申のり

都の押子ゑの

十二編中巻

仙果作

國貞画

えんきさか

えんき

九曜文庫





此の物語は、
 昔の物語に
 似てゐるが、
 内容は、
 全く異なる。
 此の物語は、
 昔の物語に
 似てゐるが、
 内容は、
 全く異なる。
 此の物語は、
 昔の物語に
 似てゐるが、
 内容は、
 全く異なる。



此の物語は、
 昔の物語に
 似てゐるが、
 内容は、
 全く異なる。
 此の物語は、
 昔の物語に
 似てゐるが、
 内容は、
 全く異なる。
 此の物語は、
 昔の物語に
 似てゐるが、
 内容は、
 全く異なる。



Handwritten Japanese text in vertical columns, located at the top and left sides of the illustration. The text includes names and descriptions of the scene.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located at the bottom and right sides of the illustration. The text includes names and descriptions of the scene.



Handwritten Japanese text in vertical columns, located at the top and left sides of the illustration. The text includes names and descriptions of the scene.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located at the bottom and right sides of the illustration. The text includes names and descriptions of the scene.



吉野永八ノ卯年正月十日
 住吉大明神

吉野永八ノ卯年正月十日
 住吉大明神



吉野永八ノ卯年正月十日
 住吉大明神

吉野永八ノ卯年正月十日
 住吉大明神

吉野永八ノ卯年正月十日
 住吉大明神

吉野永八ノ卯年正月十日
 住吉大明神

Handwritten text in cursive script (草书) on a greenish-yellow background. The text is dense and covers most of the page, with some characters appearing to be bleed-through from the reverse side. The script is highly stylized and fluid, characteristic of traditional Chinese calligraphy. The text is arranged in vertical columns, reading from right to left. The characters are white or light yellow, contrasting with the greenish-yellow background. The overall appearance is that of an antique manuscript or a page from a historical text.